別紙（1）

臨床使用申請薬剤

令和6年　2月　14日
第59回　薬事委員会

No.	薬品名（会社）	成分	効能	用法	薬価	院内 院外	申請者
1	テラムロ配合錠AP「ｻﾜｲ」（沢井）	テルミサルタン40mg アムロジピン5mg	高血圧症	成人には1日1回1錠（テルミサルタン／アムロジピンとして40mg/5mg）を経口投与する。本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない。	1錠　￥26.5	院外	内藤 (内科)
2	パルモディアXR錠 0.2㎎・0.4㎎ （興和）	ペマフィブラート	高脂血症（家族性を含む）	通常、成人にはペマフィブラートとして1回0.2mgを1日1回経口投与する。ただし、トリグリセライド高値の程度により、1回0.4mgを1日1回まで増量できる。	0.2mg ￥61.3 0.4mg ￥113.4	院内 院外	大橋 (内科)
3	オンダンセトロン注4mgシリンジ｢ﾏﾙｲｼ｣（丸石）	オンダンセトロン	抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）、 術後の消化器症状（悪心、嘔吐）	＜抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）＞ 通常、成人にはオンダンセトロンとして1回4mg、1日1回緩徐に静脈内投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。また、効果不十分な場合には、同用量を追加投与できる。 通常、小児にはオンダンセトロンとして1回2.5mg/m2、1日1回緩徐に静脈内投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。また、効果不十分な場合には、同用量を追加投与できる。 ＜術後の消化器症状（悪心、嘔吐）＞ 通常、成人にはオンダンセトロンとして1回4mgを緩徐に静脈内投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 通常、小児にはオンダンセトロンとして1回0.05～0.1mg/kg（最大4mg）を緩徐に静脈内投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。	4㎎/2㎖/1筒 ￥3381	院内	乙咩 (麻酔)
4	フォゼベル錠5㎎・10㎎・20㎎・30㎎ （協和キリン）	テナパノル塩酸塩	透析中の慢性腎臓病患者における高リン血症の改善	通常、成人にはテナパノルとして1回5mgを開始用量とし、1日2回、朝食及び夕食直前に経口投与する。以後、症状、血清リン濃度の程度により適宜増減するが、最高用量は1回30mgとする。	5㎎ ￥234.10 10㎎ ￥345.80 20㎎ ￥510.90 30㎎ ￥641.80	院内 院外	藤倉 (腎臓内科)
5	ロケルマ懸濁用分包5ｇ （ｱｽﾄﾗｾﾞﾈｶ）	ジルコニウムシクロケイ酸Na	高カリウム血症	通常、成人には、開始用量として1回10gを水で懸濁して1日3回、2日間経口投与する。なお、血清カリウム値や患者の状態に応じて、最長3日間まで経口投与できる。以後は、1回5gを水で懸濁して1日1回経口投与する。なお、血清カリウム値や患者の状態に応じて適宜増減するが、最高用量は1日1回15gまでとする。 血液透析施行中の場合には、通常、1回5gを水で懸濁して非透析日に1日1回経口投与する。なお、最大透析間隔後の透析前の血清カリウム値や患者の状態に応じて適宜増減するが、最高用量は1日1回15gまでとする。	5ｇ ￥1,042.10	院内 院外	藤倉 (腎臓内科)

処方オーダー入力は2/21(水)から可能です。（ﾌｫｾﾞﾍﾞﾙ錠は2/26から）

別紙（2）

新規採用薬剤

令和6年　2月　14日
第59回　薬事委員会

No.	薬品名（会社）	成分	効能	用法	薬価	院内 院外	申請者
1	ラスビック点滴静注キット150㎎（杏林製薬）	ラスクフロキサシン塩酸塩	肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染	通常、成人にはラスクフロキサシンとして、投与初日に300mgを、投与2日目以降は150mgを1日1回点滴静注する。	150㎎ ￥3,999	院内	内藤 (内科)
2	モノヴァー静注 500㎎・1000㎎ （日本新薬）	デルイソマルトース第二鉄	鉄欠乏性貧血	通常、体重50kg以上の成人には、鉄として1回あたり1000mgを上限として週1回点滴静注、又は鉄として1回あたり500mgを上限として最大週2回緩徐に静注する。 通常、体重50kg未満の成人には、鉄として1回あたり20mg/kgを上限として週1回点滴静注、又は鉄として1回あたり500mgを上限として最大週2回緩徐に静注する。	500mg ￥6,189 1000mg ￥12,377	院内	大石 (外科)
3	アジマイシン点眼液1% （千寿）	アジスロマイシン	結膜炎、眼瞼炎、麦粒腫、涙嚢炎	＜結膜炎＞ 通常、成人及び7歳以上の小児には、1回1滴、1日2回2日間、その後、1日1回5日間点眼する。 ＜眼瞼炎、麦粒腫、涙嚢炎＞ 通常、成人には、1回1滴、1日2回2日間、その後、1日1回12日間点眼する。	2.5mL 1瓶￥735.5	院外	松岡 (眼科)
4	ローヘパ透析用150単位/mLシリンジ20mL （陽進堂）	パルナパリンナトリウムキット	血液体外循環時の灌流血液の凝固防止（血液透析・血液透析ろ過・血液ろ過）	○出血性病変又は出血傾向を有しない患者の場合 ・通常、成人には体外循環開始時、パルナパリンナトリウムとして治療1時間あたり7～13単位/kgを体外循環路内血液に単回投与する。なお、体外循環路内の血液凝固状況に応じ適宜増減する。 ・通常、成人には体外循環開始時、パルナパリンナトリウムとして15～20単位/kgを体外循環路内血液に単回投与し、体外循環開始後は毎時6～8単位/kgを抗凝固薬注入ラインより持続注入する。なお、体外循環路内の血液凝固状況に応じ適宜増減する。 ○出血性病変又は出血傾向を有する患者の場合 通常、成人には体外循環開始時、パルナパリンナトリウムとして10～15単位/kgを体外循環路内血液に単回投与し、体外循環開始後は毎時6～9単位/kgを抗凝固薬注入ラインより持続注入する。	20mL/1筒 ￥455	院内	尾崎 (臨床工学科)

別紙（3）

削除決定薬剤

令和6年　2月　14日
第59回　薬事委員会

No.	区分	薬品名	薬効分類	備考
1	内用	カルタン細粒83%(院外専用)	高リン血症治療剤	製造販売中止、2024年3月経過措置
2	内用	アレジオンドライシロップ1%(院外専用)	アレルギー性疾患治療剤	製造販売中止
3	内用	ジソピラミドCap50mg「ﾌｧｲｻﾞｰ」(院外専用)	不整脈治療剤	販売中止、使用量ゼロ
4	内用	球形吸着炭Cap「ﾏｲﾗﾝ」(院外専用)	慢性腎不全用剤	2024年3月経過措置 細粒あり
5	外用	ドレニゾンテープ4μg／㎠(院外専用)	皮膚疾患用密封療法剤	製造販売中止、ｴｸﾗﾌﾟﾗｽﾀｰ代替品あり
6	注射	ペプレオ注射用5mg・10mg	抗腫瘍性抗生物質	製造販売中止

切替えによる削除薬剤（薬事委員会からの後発品変更薬剤及びお知らせを参照して下さい。）

No.	区分	薬品名
1	外用	カチリ「ホエイ」
2	内用	ドキサゾシン錠2mg「ﾌｧｲｻﾞｰ」
3	内用	乳糖「ホエイ」
4	内用	ピオグリタゾン錠15mg「VTRS」
5	内用	プレガバリンOD錠25mg・75mg「ﾌｧｲｻﾞｰ」
6	内用	ラシックス錠10mg
7	注射	アガルシダーゼベータ点滴静注5mg・35mg
8	注射	硫酸ストレプトマイシン注射用1ｇ「明治」
9	注射	ジーラスタ皮下注3.6mg
10	注射	ブチルスコポラミン臭化物注20mgシリンジ

※後発薬剤採用に伴う先発薬剤は院内在庫がなくなり次第、院内の入力は不可となります。

※経過措置期限切れとなる薬剤は期限日まで使用できますが製造中止となる薬剤も含めて市場での流通が困難となった場合や院内在庫終了時は入力不可となる場合があります。

別紙（4）

後発品変更薬剤

令和6年　2月　14日
第59回　薬事委員会

№.	先発薬品名	会社	薬価	後発薬品名	会社2	薬価2	薬効
1	ラシックス錠10㎎	サノフィ	¥9.3	フロセミド錠10㎎「NIG」	日医工岐阜	¥6.1	利尿降圧剤
2	ジーラスタ皮下注3.6㎎	協和キリン	¥108,532.0	ペグフィルグラスチムBS皮下注3.6㎎「モチダ」	持田製薬	¥61,188.0	持続型G-CSF製剤

先発薬品の院内在庫が終了次第後発薬品変更します。
院外処方は先発薬品の選択は可能です。

別紙（5）

薬事委員会からのお知らせ

令和6年　2月　14日
第59回　薬事委員会

１.切り替え薬品（院内在庫終了次第切り替え、院外は切り替え後も使用可ですが製造販売中止予定の薬剤は市場での流通が困難となった場合は入力不可となる場合があります。）

No.	切替え前	⇨	切替え後	備考
1)	ドキサゾシン錠2㎎「ﾌｧｲｻﾞｰ」	⇨	ドキサゾシン錠2㎎「VTRS」	製造販売継承
2)	カロナール錠500㎎	⇨	アセトアミノフェン錠500㎎「ﾏﾙｲｼ」	入庫困難あり
3)	ナイロジン注（VB1、B6、B12配合）	⇨	プレビタS注射液（VB1、B2、VC配合）	製造販売中止
4)	乳糖「ホエイ」	⇨	乳糖水和物「ホエイ」	販売名変更
5)	ピオグリタゾン錠15㎎「VTRS」	⇨	ピオグリタゾン錠15㎎「トーワ」	製造販売中止
6)	ピコスルファートナトリウム内用液「NIG」	⇨	ピコスルファートナトリウム内用液「ｲｸﾜｷ」	入庫困難あり
7)	プレガバリンOD錠25㎎「ﾌｧｲｻﾞｰ」	⇨	プレガバリンOD錠25㎎「VTRS」	製造販売継承
8)	プレガバリンOD錠75㎎「ﾌｧｲｻﾞｰ」	⇨	プレガバリンOD錠75㎎「VTRS」	製造販売継承
9)	カチリ「ホエイ」	⇨	フェノール･亜鉛華リニメント「ホエイ」	販売名変更
10)	アガルシダーゼベータ点滴静注5㎎・35㎎	⇨	ファブラザイム点滴静注5㎎・35㎎	入れ替え
11)	硫酸ストレプトマイシン注射用1ｇ「明治」	⇨	ストレプトマイシン硫酸塩注射用１ｇ「明治」	販売名変更
12)	ブチルスコポラミン臭化物注20mgシリンジ「NP」	⇨	ブチルスコポラミン臭化物注20mg「NP」(ｱﾝﾌﾟﾙ)	製造販売中止
13)	塩酸メピバカイン注シリンジ1%「NP」	⇨	メピバカイン塩酸塩注射液1%シリンジ100㎎「NP」	販売名変更

２.その他

- 5種混合ワクチンが4月より定期接種に追加あり、病院は、ゴービック水性懸濁注（田辺三菱）、しろわクリニックはクイントバック水性懸濁注（明治製菓）を使用していく。
- しろわクリニックの薬剤マスターにテリルジー100ｴﾘﾌﾟﾀ30吸入とニューレプチル錠10㎎を追加
- ハルロピ8㎎テープを院外のみ⇒院内・院外に変更（抗ﾊﾟｰｷﾝｿﾝ病薬が内服不可の場合に使用）
- オルケディア錠４㎎を院外のみ追加
- ボルタレンSRカプセル37.5㎎を院外のみ⇒院内・院外に変更（後発品が製造中止のため）
- 次回の薬事委員会は、5月　8日（水）16時から開催予定